

## ◎グリセオール注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 濃グリセリン 10%・果糖 5%・NaCl 0.9% (U) concentrated glycerin/fructose 【分類】 眼圧降下剤, 頭蓋内圧亢進・頭蓋内浮腫治療剤

【単位】 ◎200mL/袋

【常用量】 1回 200～500mL [1日 1～2回]

【用法】 500mL/2～3hr で点滴

【透析患者への投与方法】 透析性低血圧に対し 100～200mL/hr で透析時に投与する。透析中の緑内障の眼痛防止, 脳浮腫の治療にも用いられるが, 血圧の上昇に注意して投与する (5)

【その他の報告】 原則として透析中にグリセオール 200～400mL 投与する。非透析日にも同量投与できるが Na 負荷による心不全に注意する。200mL を 30分～2hr かけて 4～12hr ごと 1日 600mL を限度とする (1)

高張塩化ナトリウムやHDFに比べ, 閉塞性隅角緑内障を合併したHD患者のHD時の眼圧上昇をHD時400～1000mLで軽度抑制(高折光司, 他: 透析会誌 44: S394, 2011)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 水分, NaCl の過剰投与に注意しながら投与 (5)

【特徴】 グリセリンと果糖の配合製剤。頭蓋内圧を低下させる作用はマンニトールとほぼ同等で利尿作用は弱い。リバウンド現象が少ないため脳浮腫には優れている。抗浮腫作用だけでなく虚血部の脳循環を改善する効果も期待できる。200mL で約 100kcal (利用率 80%として) のエネルギーを供給する利点もある。投与期間は脳梗塞に対しては 1～2 週間, 脳出血に対しては 2～3 週間をめぐ。

【主な副作用・毒性】 アシドーシス, 尿潜血反応陽性, 血色素尿, 血尿, 悪心, 嘔吐, 低 K 血症, 非ケトン性高浸透性高血糖, 口渇, 血圧上昇など

【安全性に関する情報】 成人発症 II 型シトルリン血症患者の脳浮腫治療に使用して病態が悪化した症例があり, シトルリン欠損症合併の有無を確認する (5)

【モニターすべき項目】 眼圧測定

【代謝】 肝代謝 (U)

【排泄】 尿中未変化体排泄率 7～14% [iv, 2.5hr まで] (U)

【t1/2】 グリセリンとして 1hr 程度 (1)

【透析性】 透析で除去される (5)

【TDM のポイント】 TDM の対象にはならない

【効果発現時間】 眼圧低下: 10min 以内 【最大効果発現時間】 眼圧低下, 頭蓋内圧低下: 60～90min

【効果持続時間】 眼圧低下: 約 5hr

【備考】 脳出血が疑われている場合は禁忌 (1) 緑内障の眼圧低下に用いる場合には 300～500mL を 45～90 分で点滴静注する。点滴開始から 30～135 分で最低眼圧に達し, 効果持続時間は 5 時間である (緑内障診療ガイドライン: 日眼会誌 110: 800, 2006) 代謝過程でブドウ糖を生じ, 1L あたり 637kcal のエネルギーを有するため DM 患者への投与には注意。眼科手術中に尿意を催すことがあるので術前に排尿しておくことが望ましい (1)

【更新日】 20190824

※正確な情報を掲載するように努力していますが, その正確性, 完全性, 適切性についていかなる責任も負わず, いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし, それらを利用した結果, 直接または間接的に生じた一切の問題について, 当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は, 日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。